

2016年8月23日

各位

【安全性評価研究会 2016年夏のフォーラム開催のご案内】(第三報)

2016年「夏のフォーラム」の開催案内をお送りいたします。
多数の皆さんのご参加をお待ちしております。

安全性評価研究会 事務局 萩田孝一

記

1. 日時: 2016年9月9日(金) 13時~9月11日(日) 12時(9月9日12時受付開始)

2. 場所:

フォーラム会場 八ヶ岳自然文化園
長野県諏訪郡原村 17217-1613 TEL:0266-74-2683
アクセス: <http://yatsugatake-ncp.com>
宿泊場所 八ヶ岳原村第2ペンションビレッジ 5施設程度
分泊して頂くペンションは自然文化園至近で徒歩5分程度です。
宿泊場所は、フォーラム会場にてご案内します。

3. 参加費:

会員 : 32,000円 二泊三日
(内訳: 宿泊費 10,000円/泊、参加費 12,000円)
非会員 : 36,000円 二泊三日
(内訳: 宿泊費 10,000円/泊、参加費 16,000円)

4. 参加申込み: 申込期限 8月26日(金)

事務局 吉野 (tanigaku@3sjapan.com) までご連絡ください。
申込期限以降の参加費は、会員 15,000円、非会員 20,000円となります。
また、9月1日以降のキャンセルについては、宿泊費の50%のキャンセル料が発生します。

★賛助会員 A の企業については、非会員の方でも1口1名まで会員価格で参加いただけます。参加申し込み時に『賛助会員』と御明記下さい。また、無料で企業展示スペースをご利用可能です。ご希望があれば用意いたしますので、事前にお申込み下さい。

★賛助会員 B の企業については、非会員の方でも1口1名まで会員価格で参加いただけます。参加申し込み時に『賛助会員』と御明記下さい。

2016年 夏のフォーラム プログラム (予定)

第1日目：9月9日（金）13:00～16:55

■セッション1：若手研究者による最近のトピックス紹介

座長：編集企画委員

S1-1 SD系ラットを用いた皮膚光毒性評価系の確立と一般毒性試験への組み込みの試み

米澤 豊 氏（科研製薬株式会社）

S1-2 臨床腎障害バイオマーカーL-FABPの各種実験動物での測定事例

鈴木 慶幸 氏（シミックファーマサイエンス株式会社）

■セッション2：臨床リスク最小化

S2-1 PV：リスク最小化に役立つ副作用分類（EIDOS, DoTS分類）等と非臨床試験の果たす役割

座長：編集企画委員，恒成一郎

古関 晃 先生（日本イーライリリー株式会社）

～休憩，ブース見学～

■分科会報告：PV分科会活動のまとめ

茨田 享子 氏（協和発酵キリン株式会社）

■教育講演：

座長：鈴木睦

CTOS（cancer tissue-originated spheroid）（仮題）

井上 正宏 先生（大阪府立成人病センター）

第2日目：9月10日（土）9:00～17:15

■セッション3：労働安全衛生，環境毒性

座長：恒成一郎，鈴木睦

S3-1 作業者の安全性確保を目的とした，非臨床・臨床データを用いた化学物質の評価

加藤 伸明 先生（中外製薬株式会社）

S3-2 国内医薬品の環境影響 - エコファーマコビジランスという考え方 -

東 泰好 先生（日本リスクマネージャネットワーク）

～休憩，ブース見学～

S3-3 医薬品の環境影響評価と生態毒性試験

新野 竜大 先生 (株式会社 LSI メディエンス)

■ランチョンセミナー ((株) ケー・エー・シー提供)

座長：編集企画委員

L1 ヒト肝細胞株 HepaRG を用いた肝障害・薬物代謝の評価

Dr.Chesne (BIOPREDIC 社)

■セッション 4：感覚器毒性(2)

座長：編集企画委員

S4-1 Auditory Brainstem Response による聴覚毒性評価

黒岩 有一 先生 (株式会社ボゾリサーチセンター)

～休憩，ブース見学～

■ワークショップ：毒性質問箱

座長：編集企画委員

グループディスカッションタイトル：

①感覚器毒性 (聴覚毒性、眼毒性)

②産業衛生

③In vitro 肝毒性

④FAAH 阻害薬のフェーズ I 試験で認められた有害事象に関する議論

■特別企画：ブックによるトキシコロジストのための基礎講座

最近の体験 2 件 (優性致死試験、学会改革) と昔話

菊池 康基 先生

第 3 日目：9 月 11 日 (日) 9:00～12:10

■ワークショップ：毒性質問箱

座長：編集企画委員

グループディスカッション報告

■セッション 3：労働安全衛生，環境毒性

座長：恒成一郎

S3-4 労働衛生における有害物質ばく露対策の現状と課題

土肥 誠太郎 先生 (三井化学株式会社)

■分科会報告：肝代謝・毒性を予測するために用いられている in vitro 評価方法の現状につ

いて

佐倉 武司 氏（住友ベークライト株式会社）

■総会：幹事会，編集企画委員会，分科会，並びに会計の報告

賛助会員

味の素株式会社

アスピオファーマ株式会社

EA ファーマ株式会社

株式会社イナリサーチ

協和発酵キリン株式会社

株式会社ケー・エー・シー

コーニングインターナショナル株式会社

興和株式会社

参天製薬株式会社

株式会社三和化学研究所

シミックファーマサイエンス株式会社

BASF ジャパン株式会社

持田製薬株式会社

わかもと製薬株式会社

株式会社ワンビシアーカイブズ

以上